



# intra-mart WebMail ver5.1

## リリース・ノート

初版 2006/01/27

### 1. バージョンアップ内容

以下にこのバージョンで変更になった点を列挙します。

なお、各機能の詳細に関してはマニュアルを参照して下さい。また、各機能の設定方法に関しては、マニュアルまたはインストールガイド等を参照して下さい。

- ◆ 基本機能(詳しくは、マニュアル、インストールガイドまたはAPIリストを参照して下さい)
  - ✓ Flash を用いた送受信画面を選択できるようになりました。(受信サーバが IMAP4 の場合)
  - ✓ 未読件数が表示されるようになりました。(Flash 版のみ)
  - ✓ 送信時のアドレス設定を To、Cc、Bcc 全体で最低 1 つ設定してあれば送信できるようになりました。

## 2. システム要件

intra-mart WebMail Ver.5.1 は、以下の製品上で動作します。動作環境については、以下の製品のリリース・ノートを参照して下さい。

- intra-mart ベースモジュール/フレームワーク Ver.5.1

(その他)

動作確認済み端末

N505i(NTTドコモ)

NTTDocomo iモードHTMLシミュレータ Version7.2

### ◆ サーバ要件

- ・256MB 以上の RAM(OS やその他のソフトウェアが動作するために必要なメモリが別途必要です)

注意 作成されるアプリケーションで多くのメモリを必要とする処理を想定されている場合や、想定ユーザー数等が多い場合は、より多くのメモリを必要とします。この点を御考慮いただき必要となるメモリ容量を御算出下さい。

- ・ ハードディスク領域: 200MB (intra-mart ベースモジュールのみ)

30MB (WebMail のみ)

注意 実行するシステムの規模や登録データ量により運用時に必要なハードディスク容量は変化します。  
また、Storage Service および Permanent-Data Service は、管理するデータ量に比例してハードディスク容量を必要とします。  
ログ機能の利用や長期間の運用も考慮し、十分な空き容量を確保してください。

### ◆ ブラウザ要件

- intra-mart ベースモジュール/フレームワーク Ver.5.1 のブラウザ要件に準拠します。

### ◆ 動作確認メールサーバ

- Cyrus IMAP4 server version 2.1.12
- Cyrus 版 AIR MAIL IMAP サーバシステムバージョン 5

## 3. 制限事項

### (1) intra-mart WebMail の制限事項および注意事項

当アプリケーションは、RFC822 に定義されるテキストメール及び MIME メール(インターネットメールの多目的拡張、主に RFC2045～RFC2049)に準拠したインターネットメッセージを扱えるように設計されています。よって、それらの基準に準拠しない受信メールの形式によっては受信に失敗したり、文字化けを起こすことがあります。

制限事項は以下の通りです。

- 送信時に、複数の同じ名前のファイルを添付することができません。
- 一部の特殊文字で、メール送信できない文字があります。(メール送信画面上の注意事項ボタンを参照)
- 検索画面でメッセージを intra-mart サーバ側へキャッシュしているため、「次へ」「前へ」で画面を移動している間、未読・既読の変更がされません。(受信サーバが IMAP4 の場合)
- 画像付きの html メールには対応していません。
- 他のメールクライアントソフトで作成されたフォルダは、WebMail 側では削除できないことがあります。(受信サーバが IMAP4 の場合)
- MIME 形式でない添付ファイル付きメールは、添付ファイルとして識別してダウンロードすることができません。
- グループポータル設定及びユーザポートレット設定において、ひとつのポータル画面に同じポートレットを2つ以上登録しないようにしてください。
- プログラムで異常終了またはスクリプトエラーが発生した場合、すぐにメール受信などができない場合があります。しばらく時間が経過した後、操作を開始してください。
- タグの表記に用いられる記号(>,<,",&等)及び「'」(シングルクォート)をデータとして登録すると、正常に管理者用画面(マスタメンテ画面など)で表示できないなど、動作がおかしくなる場合があります。
- iモード住所録で DoCoMoF503i の機種を使用した場合、社員検索、会社検索で全角カナを入力し検索すると検索できません。
- 住所録のファイルエクスポート機能、スケジュール管理の CSV 出力機能で IE6.0 を使用している場合に正しく出力できない場合があります。IE6.0 では「開く、又は保存する」のダイアログが複数回現われることがあります。
- 文字列検索を行う画面で検索文字列にデータベース上でメタ文字として扱われる文字を指定した場合、正しい結果が得られない場合があります。
- ブラウザの文字コードセットを自動選択にしていた場合、画面に CSJS エラーが表示される、若しくは意図した動作をしないことがあります。この場合、文字コードセットを「日本語(Shift\_JIS)」または「日本語(EUC-JP)」にして下さい。
- スケジュール管理において、同じグループ(組織・オフィシャルグループなど)にスタートパック管理者が複数いるとき、スケジュールの更新に不具合が発生することがあります。
- X-Servlet を使う場合に、アクセス URL が長いと引数の多いリンクを含む画面などでエラーが発生する端末があります。プロトコル部分を含めて 40 文字程度に収めてください。
- EUC 環境に EUC で WebServerConnector にモジュールをインストールした場合で、設定ファイル imart.xml の client-charset が SJIS または MS932 の場合、メニューからマニュアルを開くと CSJS エラーとなります。この場合、マニュアルを SJIS に変換する必要があります(改行コードは CR+LF)。マニュアルは、WebServerConnector ルート/doc/imart/sfa/sales/manual フォルダ、WebServerConnector ルート/doc/imart/startpack/manual フォルダの全てのファイルです。

- ファイル、フォルダの保存に関しては OS のファイルシステムに依存します。
- ファイルダウンロード時の挙動は、ブラウザに依存します。現在以下のような現象が発生することが確認されています。
  - ファイルダウンロード機能において IE6.0 で Excel ファイル(\*.xls)を直接開いた場合に、「ページが表示できません」を表示する場合があります。この場合はファイル名のリンクを「右クリック 保存」にてダウンロードすることができます。
  - ファイルダウンロード機能において、「0 (ゼロ)byte」のファイルをダウンロードするとエラーが発生します。
  - ファイルダウンロード機能において、ファイル名に「2byte」文字を含むファイルのダウンロードするとブラウザによってはファイル名の欄に任意の英数字が表示されます。
  - ファイルダウンロード機能においてファイルを直接「開く」を選択した場合、特定のファイルが開かない場合があります。この場合は「保存」にてダウンロードすることができます。

また、NoCacheFilter を無効に設定する事で回避可能ですが、NoCacheFilter を無効に設定すると以下の操作が可能になってしまいます。

例: ブラウザの戻るボタンが有効になる。

NoCacheFilter の使用に関しましては、「configuration\_guide\_v5.pdf」の P102 「4.3.2.18 ブラウザにページをキャッシュさせないためのフィルタ」を参照ください。

なお、doc/imart/WEB-INF/web.xml 編集後は、以下の操作が必要です。

BaseModule をご利用の場合: Application-Runtime の再起動

Framework をご利用の場合: Web コンテナへの再デプロイ

- ファイルダウンロード機能において、拡張子のないファイルを開くとエラーが発生します。
- 「グループ管理者」が行った変更は、ログイン中にユーザにすぐに反映されません(ユーザの再ログイン時に反映されます)。例えば、任意のユーザでログインをした後、別ブラウザにて「グループ管理者」でログインをして、任意のユーザの有効期限を無効な日付けに変更しても、任意のユーザは、メニューからページに遷移して、各処理を行うことができます。
- intra-mart ベースモジュール/フレームワーク Ver5.1 の国際化機能には対応していません。
- Sun Java Version 1.4.2\_04 (build 1.4.2\_04-b05) では、ISO\_2022\_JP のエンコーディングを使用した際、2 バイト文字 1 つの場合に java.nio.BufferOverflowException が発生します  
(<http://developer.java.sun.com/developer/bugParade/bugs/5017922.html>)。この問題により、intra-mart の以下の標準機能(製品)が影響を受けます。
  - ・intra-mart ベースモジュール/フレームワークのメール送信機能
  - ・intra-mart WebMail のメール送信・受信機能
  - ・その他 intra-mart 製品のメール送信機能
 メールタイトルや本文等が2バイト文字1つの場合、java.nio.BufferOverflowException が発生します。
- 機種依存文字を表示するには、imart.xml において client-charset の設定を「MS932」にする必要があります。  
client-charset の設定方法に関しましては、BaseModule の設定マニュアルをご参照下さい。
- i-mode に関して、Foma製品は動作しません。

## (2) その他

- intra-mart ベースモジュール/フレームワーク Ver.5.1 の制限事項に準拠します。

## 4. マニュアルについて

「WebMailヘルプ」がページメニューに登録されています。

[WebMail]-[WebMailヘルプ]メニューから参照できます。一般ユーザの方に開放し、ご利用ください。

\_\_\_\_\_ その他最新の技術情報やパッチ提供は **intra-mart Support Site** を御参照ください。

**intra-mart Support Site** : <http://www.intra-mart.jp/support/intramart.cgi>

以上